

## 中村正直先生

氏 原 鏡 子

私は數ならぬものでございますのに今日の御會合に諸先生方の中に加はり列席の出來ました事をお禮申上げます。

私は今を去る五十一年明治十一年、大阪府の命令でこちらの保育科に入學いたしました。當時年は二十歳、只今は七十歳で老ぼれてまことに見にくくなりましたが二十歳の頃はもう少し美しうございまして皆様にも目にかけたいと存じます。

當時の記憶として何か申せとの事でございましたがいろいろございしますが、まづ園舎が立派で廣うございまして事を申上げようと存じますが、先程もう皆様のお話がございましたのでその中一つ二つ仰せきれなかつた事を申上げませう。庭に面したところに二間程の廊下がありこゝから庭に出られるようになつて居りました。

こゝから本校の屏迄つとさへぎるものはございませぬ。空地の中には子供一人用の三尺四方の畑が

あります。めい／＼子供が来て土をやわらかにし種を蒔き苗を植え、草をと水をや自然物を養ひます。まことに楽しみ多く趣味のあるものでございます。子供は始終そこに行き手入れをしました。咲いた花は室内の飾りにする、出来た豆は幼稚園で茹で、會食にする、多分に出て来ると家庭に持つて歸らせます。それには子供用の小さな鍬、ひしやく等があります。子供がずつと並んで小さな肩に鍬をせめて行く姿がまことに可愛らしうございました。空地があつてかういふ楽しみが出来たのは附屬女學校や附屬小學校がなく本校々舎と幼稚園の園舎があるだけであつたからでございます。廣いので藤棚等も百坪近くもまことに立派に出来ました。

次にお話し申上げ度いのはこゝに半折をかゝげましたが創立當時の校長その頃は攝理と云ひましたが中村正直先生の事についてでございます。この先生の大學者であり、人格者であつた事は御承知でございます。が、舊幕臣で安井息軒の門に入り十五歳に時の大學である聖堂に入り修學せられました。慶應の始め三十五歳にして徳川から英國に留學せられ英語を修業、御維新に歸朝の後慶喜公が静岡に居られるので、こゝで英語の學校をたてられました。後小石川で育英事業に従事されたのでございます。明治八年に女子師範學校創立の際攝理となられました。その頃公達が時間の不經濟といふ事をちつともかまはれないのを注意なされてすべて時の經濟に心がけていらつしやいました。十四年頃迄攝理で二十三年貴族院議員、二十四年六月に永眠せられ谷中の天王寺に葬られました。この事が天聽に達して侍従を

あさしむけに相成り金一千圓御下賜勳三等に叙せられ破格の御沙汰がございました。

この方が幼稚園の保姆をちえらびになる理想はその人の態度人格が子供に影響すると言葉使ひを丁寧にせよといふ仰せて、こゝにあいでになる豊田先生や近藤はま氏などは御理想の方でまことに適當な人格者でいらつしやいました。

先生の御遺墨の所有者としてお話し申上げましたのはまことに光榮と存じます。ちはづかしうはございますがこの半折を吟じてあさかせ申上げませう。

忙裏求閑閑以仙動中有靜靜如山、君看行雲流水妙只在閑忙動靜間